

高齢者の人権を考えて

中 二一

私は小学生のときから、高齢の方々々と交流をしています。私が小学生のころから習っているダンスのチームでは、高齢者施設を訪れ、演舞します。この経験が、高齢者の気持ちになって考えるよい機会となりました。

私が最近訪れた高齢者施設で最初に思ったことがあります。それは、「高齢者が快適に過ごせる工夫」についてです。例えば、施設の出入り口、廊下、階段などは、私の家とは全く違うつくりとなっていました。出入り口は、階段の横に車いすの人が乗ったままのぼれるようにゆるやかな坂の通り道が設置してありました。廊下には、手すりがないところなどについていて、高齢の方々が移動しやすいつくりとなっていました。よく見てみると、階段にも工夫がされていました。すべり防止のマットが敷いてあったり、一段一段の高さが低く、足場が広くなっていたり、細かい所まで工夫がされているのだと感じました。

私たちの発表が始まると、高齢の方々には楽しそうな雰囲気、手をたたき、笑顔になってくれました。発表が終わった後、高齢の方々が自分の部屋に戻る際、中でも自力で戻ることができない方々の「自分の力で戻りたい。」という思いが感じられました。人に頼らなければいけないときは必ずくると思うけれど、「自力で何かをしたい。」と思う高齢の方々の気持ちが少し分かった気がします。

私が高齢者施設から帰るときに廊下で見たもの、それは入居している方々の笑顔あふれる写真です。イベントに参加している一人一人の表情が和やかで、こちらまでうれしくなるような笑顔あふれる写真でした。今のこの国を創ってくださった高齢の方々も、年を重ねていくうちに体が不自由になります。また、チャレンジしたいと思ったこともチャレンジしにくい環境であり、できないとあきらめてしまうことが多くなっていると思います。だから、高齢の方々が体験できるようなイベントを開き、もっと触れ合いの場が増えると思えます。私に大きなことをする力はないけれど、ボランティアなどに少しでも参加し、高齢の方々

のお手伝いができればよいと思います。

今、私にはおばあちゃんがいます。会える機会はあまりないけれど、いろいろなことを一緒にし、楽しいと思ってもらえる時間をつくりたいです。

今の社会では高齢化が進み、私が大人になるときには、三人に一人が高齢者となっているそうです。高齢者の人権、それは、人がその人らしく生きることです。高齢の方々の人権が守られるよう、私たちが高齢の方々をいたわり、尊重していくべきだと思います。